

子ども読書推進のための学校や園、ボランティアと連携した取り組み

岡山県 総社市図書館

基本データ

| | |
|--------|---------------------------------|
| 所在地 | 総社市中央三丁目 10-113 |
| 職員数 | 13人 |
| うち司書数 | 5人 |
| 蔵書数 | 209,914冊 |
| 利用登録者数 | 13,606人 |
| 年間貸出冊数 | 482,142冊 (児童用図書貸出数 226,986冊) |

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】子供の読書啓発、子供に対するサービスの充実

【活動のねらい】

- 図書館、学校や園、ボランティアが連携することにより、各団体の活動場所が広がったり、児童図書の活用の促進が図られたりすることで、子どもの読書環境の充実を目指している。
- 映像メディアに大きく影響されている多くの子どもたちの生活を改善し、読書時間を作り出す。
- 子どもの絵本から活字本・物語へのスムーズな移行を支援する。
- 新たなボランティア団体の立ち上げや、ボランティア活動のさらなる充実のための人材育成を支援する。
- ボランティア団体での連携が深まることで、情報交換が可能になることに加えて、小道具の貸し借りや、団体間での人材派遣が可能になり、継続的なボランティア活動が可能となる。また、団体間の交流が生まれ、スキルや知識が共有され、各団体の資質向上に繋がっている。

取組・活動の概要

(1) 「読書活動を推進する会」の実施

- 目的は、市図書館・学校や園・ボランティア団体間の連携を図り、子どもの読書活動を推進すること。
- 活動は、各種団体の情報交換や研修を行い、子ども読書活動を推進するための方策を協議する(年1回)。各学校や園の1年間の取組を冊子にして配布。

(2) ボランティアネットワークの会との連携

- 目的は、市内で子どもたちの読書活動に関わる読み聞かせボランティアのネットワークの会「ドリームブックネット総社」との情報交換や連絡調整を行うこと。
- 活動は、情報交換をするための連絡会(随時)、会員のための研修会(図書館が開催)(年1回)、合同で読み聞かせイベント「おはなしいっぱい子どもの広場」をボランティアの主催により図書館で開催(年1回)。



おはなしのへや

※ボランティアが図書館で行うおはなし会の様子



おはなしいっぱい子どもの広場

※ボランティアが図書館で行うおはなし会の様子

- 乳幼児向けのおはなし会「このゆびとまれ」を図書館で開催（月1回・各団体持ち回り）。



おはなし会で、赤ちゃんと保護者が、わらべうたで遊んでいる様子

（3）学校や園での読書支援

- 目的は、子どもたちに、読書の楽しさや本に親しむ機会を提供し、読書の習慣付けを図ること。
- 活動内容は、図書館見学（2018年度実績 10校 576人）、読み聞かせ出前サービス（2018年度実績 18回 475人）、市内2か所の「つどいの広場」での読み聞かせ（月1回）。

取組・活動の工夫や特徴

- 当初「読書活動を推進する会」は、市図書館と小・中学校と読み聞かせボランティアで構成されていたが、その後、幼稚園も加わり、幼少期からの継続した読書支援に取り組んでいる。

取組・活動の成果や今後の展望

- 市内小学校のほぼ全校が図書館見学を実施。幼稚園も年々増加している。
- 市内小学校だけでなく、幼稚園の預かり保育、「子育て広場」等への幼児向け読み聞かせ出前サービスの実施。
- 図書館では、幼児向けの読み聞かせ会しかなかったが、乳幼児向けの読み聞かせを希望する市民の意見に応え、ドリームブックネット総社が引き受けるなど、相互に協力しながら読書推進に取り組んでいる。
- おはなし会等の参加者数を維持するため、新たなPRの方法を模索中。

- ボランティアが減少傾向にあり、新たな人材育成の必要がある。



こども室（子ども用閲覧室）